

鹿島市教育委員会会議録（8月定例会）

1、開会、閉会、休憩の年月日時刻

- (1) 開会 平成28年8月2日(火) 9時00分
(2) 閉会 平成28年8月2日(火) 10時25分
(3) 休憩 平成 年 月 日 時 分～ 時 分

2、出席及び欠席委員の氏名

- (1) 出席 田中隆昭委員長 中島丈夫委員
木原八重子委員 田代道子委員
江島秀隆教育長

3、委員及び傍聴人を除き、議場に出席した者の氏名

- ・染川教育次長
- ・大代人権・同和对策課長
- ・古川指導主事
- ・永石生涯学習課課長補佐
- ・藤家教育総務課課長補佐
- ・山崎生涯学習課長
- ・針長教育総務課参事
- ・池田指導主事
- ・一ノ瀬給食センター所長
- ・江頭総務課課長補佐

4、会議に附議した事件の題目及びその内容 [なし]

5、協議事項

- ・家庭でのしつけ（道徳）について（鹿島市総合教育戦略会議より）

(発言内容等)

- C委員 「子どもが公共の場で騒いでいても、親は何も注意をしないことがある。子どもに無関心で、親はスマートフォンに夢中。」
- B委員 「そういった親が、自分が子ども時代に注意を受けるしつけをされていらないのではないのか。」
- C委員 「第三者が他人の子どもに注意する勇気が出ない。人の子には中々言いづらい面がある。」
- A委員 「生徒が自転車で道を並行していたと学校で注意を受けたことがあった。本人はその時、生徒に対して注意をしていない。何でも学校任せはどうか。」
- E委員 「兄弟などがいれば、また違うのではないか。」
- B委員 「昔は地域の中で、学年が違う子ども同士が遊ぶなどして、しつけや教育ができていた。社会の構造がそのころとは異なっている。」
- E委員 「学校の中では、異なる学年同士の交流の時間はあっている。」
- D委員 「地域内では他の親子と顔見知りなので、人の子に注意することはある。その場合でも、その子が納得するように叱るし、親にも説明する。」

- A委員 「70代の方の意見では、ゲンコツも有りという意見も多い。しつけと体罰の線引きは難しい。」
- B委員 「なぜ叱られたのか、納得させる必要があるのではないか。」
- A委員 「しつけの悩みは、核家族なのか、兄弟はいるのか、三世代同居なのかなどの家族構成で異なるのではないか。」
- E委員 「しつけ・道徳の問題を教育委員会でどうしていくのか、施策が必要では。」
- B委員 「この問題は家庭で行うものなのか、教育委員会で取り組むものなのか中々難しい。」
- E委員 「幼稚園、保育園、小学校、家庭との連携が必要になってくる。」
- A委員 「中学校にあがるまで、ここまでしつけて欲しいという指針があればどうか。」
- B委員 「家庭内や幼稚園で利用できるように、しつけのチェックシートなどを作成してはどうか。」
- E委員 「鹿島市子育て五つの願いというものはある。」

6、報告事項

- ・鹿島市青少年問題協議会委員について
- ・寄附の受け入れについて 徳永潤子 様（絵画）

7、その他委員会において必要と認めた事項

- ・平成28年度鹿島市教育委員会表彰候補者の推薦について
- ・8月の学校行事等について